

いとう えいすけ

20. 伊藤 英典さん

就業のきっかけ

出身は青森県八戸市で岩手県立大学ソフトウェア情報学部を卒業後、プログラマーとして働いていました。

座り仕事がほとんどで、さらにコロナによるリモートワークが始まり、家から出るのは買い物の時のみという状況となり、このままでは体を壊すと考え、健康的な仕事を考えた際に、林業が浮かびました。

具体的にどのような仕事があるのかわからないまま、札幌で行われていた「森林の仕事ガイダンス」会場へ足を運び、そこで「北の森づくり専門学院」を勧められ入学しました。

学院で学んだ後、現場だけではなく、事務仕事もある森林組合がバランスが良いと思い、道内でも比較的雪が少ない胆振管内が立地的に良かったので、苫小牧広域森林組合へ就職しました。

※北の森づくり専門学院・・・旭川市に設立した森林づくりを担う人材を育成する北海道立の専門学校

仕事内容

私有林等の整備全般を担当し、森林の境界調査や立木調査、植栽や主伐・間伐などの森林施業を森林所有者さんへ提案、森林経営計画の立案、森林整備を実行するため作業員さんとの打合せ、補助事業等の書類作成などを行っています。

また、木育マイスターの資格を所有しているためむかわ町から依頼を受けて、木工や山の案内を行うこともあります。

※木育マイスター・・・北海道が認定する木育を普及させる専門家

仕事のやりがい

前職と比べて、仕事をしているだけで痩せられます。また、期日に迫られていないと、天候を見て事務と現場どちらを今日やる仕事にするか選べます。

街中を歩いたり、車に乗っている時の方向感覚には自信があり、ほぼ間違えないのですが、山の中をGPSを見ながら歩いていて、方向が間違っていたりすると「あちゃーまだまだ修行が足りないなあ」と感じます。



【道路の支障木撤去作業】



仕事の大変なところ

やはり熊が怖いです。あと基本的に山は電波がないため、事故を起こしたら電波が届く所まで歩かなければなりません。

林道や作業道を進む際に凸凹や泥地予測が難しく車を傷つけた事もあります。山道の運転は狭い場所で転回したり、バック走行も必要だったりするので難しいです。

林分で標準地調査を行う際、斜面や笹が厳しい場所だと設置が難しいですね。

あとは、野ねずみ予察調査を行う際に真夏の雨降り・雨上がりのワナに仕掛けたねずみを取りに行かなければならないが大変です。時間が経ったねずみはグロいです。

※野ねずみ予察調査・・・野ねずみの生息動向を予想し適切な防除計画を立てるため行う調査。6月・8月・10月の年3回実施。



【GISを使って森林管理】

胆振の魅力

千歳空港も近く、苫小牧からフェリーも使えるので実家に帰省しやすく便利です。また雪が比較的少なく、笹丈も低い山も歩きやすいです。

林業に興味を持っている方へメッセージ

北海道の山は、本州に比べて1箇所です仕事をする面積が広く、斜面がなだらかで周りに家や電線が無いことが多いので、歩きやすく仕事がしやすいです。

ただし、虫との遭遇が多いため、虫嫌いには厳しいかもしれません。